

Q 58 インターネットからはいろいろな情報を引き出すことができ非常に便利ですが，その一方で情報が無制限に流れるとか，プライバシーの問題などもあります。学校におけるインターネットの利用はどのようになっているのでしょうか？

A 学校の授業の中でインターネットを積極的に活用するとともに，それを正しく利用することができる能力を育成します。そのために，平成13年までにすべての学校でインターネットに接続できるようにします。

情報化の「光と影」と呼ばれるように，インターネット上には教育に役立つ情報が豊富にある一方で，子どもたちに悪影響を及ぼすようなものも少なくありません。また，情報を発信するときには，プライバシーや著作権についてのマナーやルールを守ることが必要です。

このため，新しい学習指導要領では，中学校や高等学校の情報に関する教科を必修とし，情報化が社会や生活に及ぼす影響や「情報モラル」の必要性などをしっかりと学習することとしました。

また，「総合的な学習の時間」や各教科のインターネットを活用した学習活動でも，あふれる情報の中から，自分に本当に必要な情報を選択し，主体的に自分の考えを築き上げる力を育成することとしています。

学校によっては，「生徒向けのインターネット利用てびき」などを定めて，「ネットワークのエチケットを守りましょう」「他人が作った絵や写真を勝手に使ってはいけません」などのルールを作っているところが増えてきています。

今後，学校でインターネットを活用する機会はますます増えていきます。

このため，文部省では，平成13年度までにすべての学校でインターネットが使えるよう計画的な整備を進めていますが，現在の，学校のインターネットの接続状況は次の表のとおりです。また，情報を高速・大容量で送受信できる通信衛星や光ファイ

バーなどを活用した教育用ネットワークの効果的な利用方法の研究開発も各学校にお願いして、実際に進めています。

インターネット接続学校数

(平成11年3月31日現在)

	学校数 (A)	インターネット 接続学校数 (B)	割合 B/A
小 学 校	23,811 23,686	3,230 6,499	13.6 27.4
中 学 校	10,475 10,432	2,375 4,461	22.7 42.8
高 等 学 校	4,162 4,161	1,557 2,651	37.4 63.7
特殊 教育 学校	68 105 104 745 748	20 28 32 149 260	29.4 41.2 30.5 44.2 34.8
小 計	918 920	201 334	21.9 36.3
合 計	39,366 39,199	7,953 13,945	18.7 35.6

上段の数値は、前年度の数値を表す。

~ 様々な機関がインターネット利用を支援しています ~

様々な団体が、学校のインターネット利用を支援するプロジェクトに取り組んでいます。

これらは、学校がインターネットを導入する際のノウハウの提供や情報交換、共同研究や教科ごとのデータベースなどを提供しています。

主なものとしては、現在、次のようなものがあります。

国立教育会館 (<http://www.naec.go.jp/>)

特色ある授業実践やいじめ問題対策などの教育情報の提供、情報教育指導者養成講座の実施、ソフトウェアライブラリー、EDドメイン名取得の支援などを実施しています。

Eスクエア (e2) プロジェクト (<http://www.edu.ipa.go.jp/E-square/>)

ホームページを通して、「酸性雨/窒素酸化物 (NoX) 調査」、「全国発芽マップづくり」などの共同学習等や学校間交流、各種情報提供を行っています (平成6~10年度「100校プロジェクト」「新100校プロジェクト」)。

こねっと・プラン (<http://www.wnn.or.jp/wnn-s/>)

ホームページ「こねっとワールド」を通して、「マースビルプロジェクト~火星についての日米共同学習」や「国際環境調査プロジェクト」などの共同学習やテレビ会議システムによるセミナー、教員研修会などを実施しています。

(社)日本教育工学振興会 (<http://www.japet.or.jp/>)

文部省の委託を受け「先生のためのインターネット活用ガイドブック」や教室でコンピュータを活用するヒントとなる「実践事例アイデア集」などを作成しています。